

## 学力検査等の内容および合否判定の方法・基準

鎌倉女子大学短期大学部

【一般選抜（一般選抜 A 日程(短大／特待生チャレンジ)、一般選抜 B 日程(短大)）】  
学科が指定した教科・科目の個別学力試験を課し、高等学校の調査書と総合して評価する。

【一般選抜（共通テスト利用）前期・後期】  
学科が指定した教科・科目の大学入学共通テストの得点と、高等学校の調査書を総合して評価する。

【総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）、総合型選抜（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期】  
面接および調査書（「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化）で評価を行い、総合的に選考する。評価観点は、①アドミッションポリシー（AP）の適合性 ②基礎学力（知識・技能） ③思考力・判断力・表現力 ④主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度の4点とする。合否判定における評価配分は、面接 80%、調査書 20%とする。

【学校推薦型選抜（短大／一般）】  
面接および調査書（「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化）で評価を行い、総合的に選考する。面接では、「入学希望理由書」に書かれた内容を中心に質疑応答を行い、「思考力・判断力・表現力」を観点に評価する。「アドミッションポリシーの適合性・主体性等」も評価観点とする。評価は、ループリック評価表（別紙）に基づき、絶対評価で行う。

【社会人特別選抜】  
書類審査、小論文および面接（志望する分野についての基礎的事項に関する問が含まれる）で評価を行い、総合的に選考する。面接は、入学希望理由書（経歴書を含む）に記載された事項を中心に行うが、その中に志望する分野についての基礎的事項に関する問を各学科の定めるところにより適宜含めるものとする。小論文は、各学科の指定する課題について、各学科の定める基礎的な事項を修得しているかを観点に評価する。